

光星2年ぶり優勝

▽決勝

聖愛 200001100030
八学光星 2100012000x64

第100回
全国高校野球
青森大会

第100回全国高校野球選手権記念青森大会は最終日の22日、弘前市のはるか

夢球場で決勝を行った。八学院光星が弘前学院聖愛

八学光星は初回、1死二

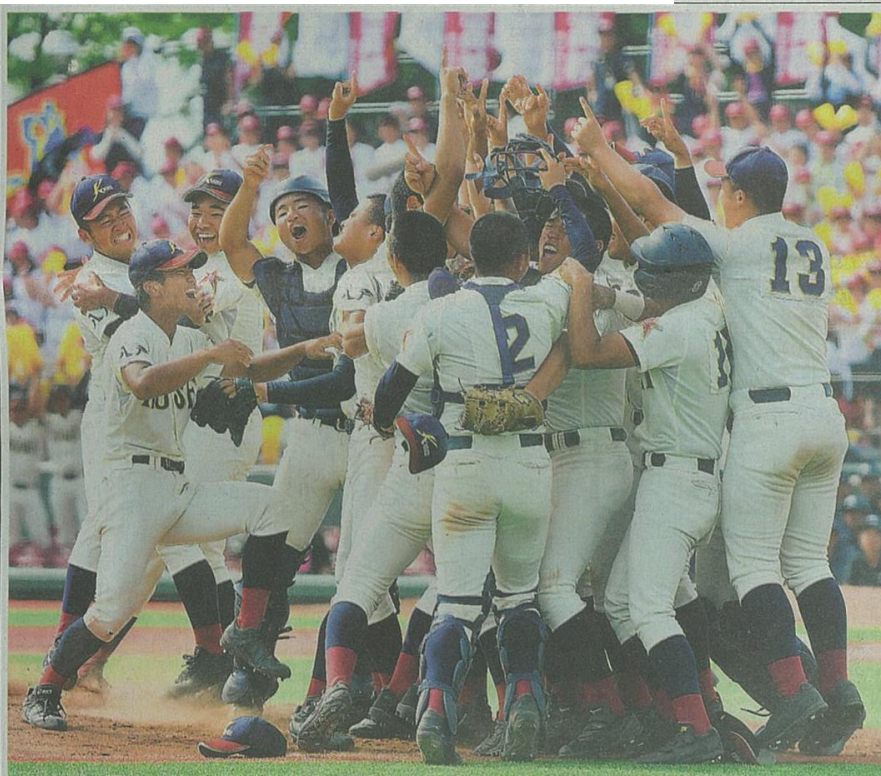
を6-4で下し、2年ぶり9回目の優勝を果たし、春夏通し18回目の甲子園出場を決めた。【詳報10、11面、関連記事23面】

は主戦福山優希が八回にピンチを招き降板したものの、八回途中まで4安打3失点の力投。後を受けた2番手中村優惟が1失点で切り抜けた。

聖愛は0-3の五回、蝦名晃汰のソロ本塁打で1点を返し、八回は先頭打者の田崎陸の右中間への二塁打を足がかりに4安打を集中、四球や犠飛などもからめて3点を返したが、反撃もそこまでなかった。

記念大会の今大会は八学光星を含む47都道府県の代表56校が出場。8月5日から兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で開幕する。組み合わせ抽選は同月2日。

(本紙取材班)



2年ぶり9回目の優勝を決め、喜びを爆発させる八学光星ナイン=22日、弘前市のはるか夢球場